

株式会社レスターホールディングス

2021年3月期第2四半期
決算補足説明資料

2020年11月12日



2021年 3 月期第 2 四半期（累計）
連結業績ハイライト

業績ハイライト

(単位：百万円)

	2020年3月期 2Q (累計)		2021年3月期 2Q (累計)		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減金額	増減率
売上高	202,984	-	147,320	-	△55,664	△27.4%
売上総利益	13,347	6.6%	12,360	8.4%	△987	△7.4%
販管費	9,805	4.8%	9,347	6.3%	△457	△4.7%
営業利益	3,541	1.7%	3,012	2.0%	△529	△15.0%
経常利益	5,690	2.8%	2,757	1.9%	△2,932	△51.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,584	2.3%	1,983	1.3%	△2,600	△56.7%

※2020年3月期2Q(累計)、2021年3月期2Q(累計)ともにのれん償却額及び無形資産償却額を含みます。

12月決算である海外子会社の決算期を3月決算に統一：2020年3月期2Q(累計)には対象会社の2019年1月から3月の増額分を含みます。

売上高：世界規模での生産停滞や消費者需要の低迷の影響等により、前年同期比では減収

売上総利益：プロダクト・ミックスの改善等により売上総利益率は向上

営業利益：売上減の影響等により営業利益は減少

経常利益／親会社株主に帰属する四半期純利益：

前期は「持分法による投資利益」(営業外収益)の大幅な増額分を計上

* 医療用ガウンの製造・供給における運用オペレーション支援などの新しいスキーム構築をはじめ、
様々なビジネス形態の創出を目指して積極的な取組みを推進

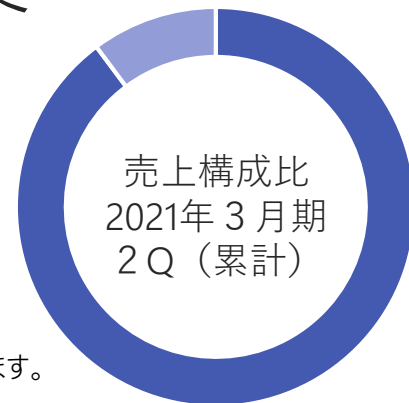


半導体及び電子部品事業

■ デバイス ■ EMS

(単位：百万円)

	2020年3月期 2Q (累計)	2021年3月期 2Q (累計)	前年同期比	
	金額	金額	増減金額	増減率
売上高	149,438	102,050	△ 47,387	△31.7%
セグメント利益	2,072	3,253	1,181	57.0%



※2020年3月期2Q(累計)、2021年3月期2Q(累計)ともにのれん償却額及び無形資産償却額を含みます。
12月決算である海外子会社の決算期を3月決算に統一：2020年3月期2Q(累計)には対象会社の2019年1月から3月の増額分を含みます。

■ デバイス事業

・緩やかな回復が見られつつあるが、車載関連の生産調整や民生向け需要の低下等を主因に減収

■ EMS事業

・決算期変更に伴う影響(増額分)の計上(前期)、及びスマートフォン向け等の需要減少により減収

* セグメント利益

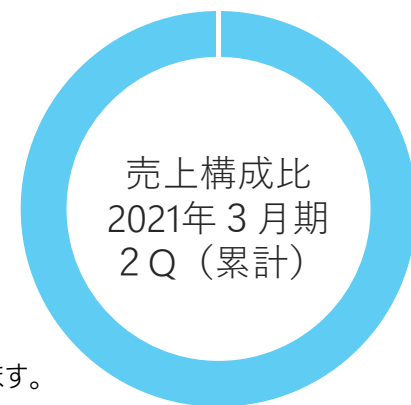
・粗利率の改善と新規事業の立上げ等による利益寄与により増益

調達事業

■ 調達

(単位：百万円)

	2020年3月期 2Q(累計)	2021年3月期 2Q(累計)	前年同期比	
	金額	金額	増減金額	増減率
売上高	38,053	33,077	△ 4,976	△13.1%
セグメント利益	150	△ 141	△ 291	-



※2020年3月期2Q(累計)、2021年3月期2Q(累計)ともにのれん償却額及び無形資産償却額を含みます。

■ 調達事業

- ・主要顧客の生産・販売面での調整の影響等により減収
- ・粗利の改善等に努めたが、減収の要因等により減益

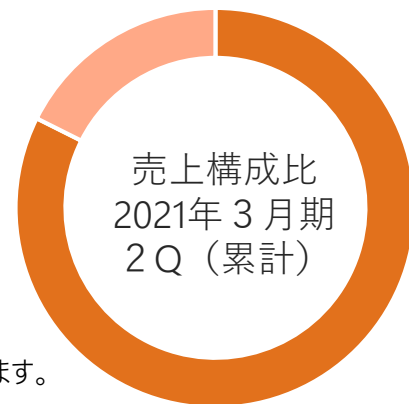
* 今後は、売上の挽回とともに新規顧客の拡大、業務効率化の推進、事業間シナジーの強化を図る

電子機器事業

■ 電子機器 ■ システム機器

(単位：百万円)

	2020年3月期 2Q (累計)	2021年3月期 2Q (累計)	前年同期比	
	金額	金額	増減金額	増減率
売上高	11,377	8,561	△ 2,815	△24.7%
セグメント利益	432	71	△ 360	△83.4%



※2020年3月期2Q (累計)、2021年3月期2Q (累計) ともにのれん償却額及び無形資産償却額を含みます。

■ 電子機器事業

- ・文教関連とメディカル関連は売上伸長、一方放送機器や計測機器等、企業向けの需要減少や大型案件の投資遅延等の影響により減収

■ システム機器事業

- ・決済用キャッシュレス端末（非接触型端末）等の需要が堅調に推移し増収

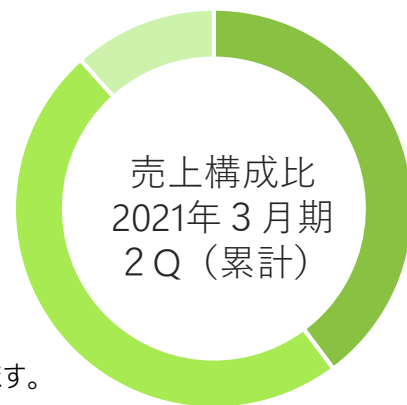
* 新様式に対応したビジネスの拡大、公共・企業向けのデジタル化案件獲得等により下期以降の回復を目指す

環境エネルギー事業

■ 発電 ■ 新電力 ■ 植物工場

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比	
	2Q(累計)	2Q(累計)	増減金額	増減率
	金額	金額		
売上高	5,658	5,181	△477	△8.4%
セグメント利益	562	220	△341	△60.8%



※2020年3月期2Q(累計)、2021年3月期2Q(累計)ともにのれん償却額及び無形資産償却額を含みます。

■ エネルギー事業

・パネル等の需要減少があったが、国内・海外の新規太陽光発電所における発電が寄与し増収

■ 新電力事業

・民間オフィス関連の電力需要低下等により売上高は若干減少

■ 植物工場事業

・コンビニエンスストア向け需要は拡大するが、首都圏における消費減少等もあり若干減収

* 再生可能エネルギーの活性化に向けた様々な取組み、事業領域の拡大と多様化を推進
植物工場事業では品質第一に更なる生産性向上に努める

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2020年3月末	2020年9月末
資産の部		
流動資産	133,937	118,817
固定資産	63,116	65,177
資産合計	197,053	183,994
負債純資産の部		
流動負債	103,432	91,017
固定負債	19,852	18,294
純資産	73,768	74,682
負債純資産合計	197,053	183,994
自己資本比率	35.7%	38.9%



キャッシュフロー

(単位：百万円)

現金及び現金同等物の期首残高	21,195
----------------	--------

■ 営業活動によるCF	7,146
-------------	-------

> 税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少、仕入債務の減少等が主な要因

■ 投資活動によるCF	△2,438
-------------	--------

> 有形固定資産の取得・関係会社株式の取得等による支出が主な要因

■ 財務活動によるCF	△6,530
-------------	--------

> 短期借入金の純減、配当金の支払いが主な要因

■ 換算差額等	△127
---------	------

現金及び現金同等物の四半期末残高	19,244
------------------	--------

2021年3月期通期業績予想の修正

(単位：百万円)

	前回予想	今回予想	増減率
	(2020年8月12日発表)	(2020年11月12日発表)	
	金額	金額	
売上高	350,000	350,000	—
営業利益	6,000	6,000	—
経常利益	6,000	6,000	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,000	8,000	60.0%

(主な理由)

・2020年10月15日発表の「菱洋エレクトロ株式会社による自己株式の公開買付けへの応募結果について」のとおり、当社保有の菱洋エレクトロ株式会社の普通株式の売却により、2021年3月期連結会計期間において投資有価証券売却益約35億円を計上（特別利益）する見通し

※現時点で入手可能な情報に基づき、通期の連結業績を公表



配当予想の修正

2020年5月13日に発表した1株当たり70円の見通しを修正

⇒特別配当15円を加えた1株当たり85円（中間配当金35円、期末配当金35円、期末特別配当金15円）

基準日	年間配当金（円）		
	第2四半期	期末	合計
前回配当予想 （2020年5月13日発表）	35円00銭	35円00銭	70円00銭
今回配当予想 （2020年11月12日発表）	35円00銭	35円00銭 （特別配当）15円00銭	85円00銭

< 成長戦略と株主還元 >

増配の実施に加え、今期業績の見通しが不透明な中で財務の安定性を重視しつつも、自己株式取得の検討等、株主各位への還元向上を図ってまいります。

また、将来の成長に向けた積極的な戦略投資や合理化投資とともに、株主還元促進との適正な資本配分を継続的に見直し、一層の利益の拡大と資本効率の改善を通じた企業価値向上に努めてまいります。



事業TOPICS



<グループビジョンおよび重点項目>

エレクトロニクスの情報プラットフォーム

世界中の課題を解決する

革新的ビジネス
の創出

情報×技術
付加価値の向上

事業間シナジー

多様な事業展開

<具体的な取組み>

1. 新構造社会を実現する高付加価値商材を拡大
～業務の効率化や省人化・イノベーションを促進
2. 低炭素社会の実現に向けて
～レスターグループにおけるエネルギー事業の取組み

新構造社会を実現する高付加価値商材を拡大

業務の効率化や省人化・イノベーションを促進

イベントセンサ

PROPHESEE社 センサ
CenturyArks社 搭載カメラ



AI

Inspur社 サーバー
DMP社 アルゴリズム



その他レスタターの
高付加価値商材



市場や顧客の課題ごとの
ハードウェアやアルゴリズム選定・
共創パートナーの構築



共創パートナー

レスタターとの連携で
現場での検証作業など
導入・運用の技術サポート

新構造社会

インダストリー4.0・ソサエティ5.0など



道路

人・車・物の識別

工場

検品・品質管理

病院

院内の人の流れの管理

研究所

データ解析・研究開発

企業内ファイルサーバー

高速処理・低遅延

低炭素社会の実現に向けて

■ 環境エネルギー事業の取組み（10月末時点）

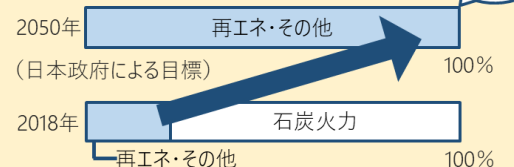


領域の
拡大

〈需要家に向けた取組み〉

- ・ 卒FIT電力を活用（地方自治体等との協業）し、エネルギーの地産地消を促進
⇒ 地域電力会社の再エネ利用への貢献
- ・ 当社発電所の電力（CO2フリーの環境価値を付与）を、RE100等の導入を目指す企業に向けて供給
⇒ 企業のCO2削減活動に寄与

【参考】日本の電力構成比割合



出典：自然エネルギー財団「日本政府の2050年カーボンニュートラル宣言について」より作成

『環境・エネルギー問題』に対し、再生可能エネルギーの普及・拡大を通じて
低炭素社会・持続可能な分散型社会の実現に貢献

レスターグループ 経営理念

ミッション

情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、
社会の発展に貢献します

ビジョン

あらゆるニーズに対応できる
「エレクトロニクスの情報プラットフォーム」を目指します
世界・社会貢献・共創と革新

バリュー

- ・多様な考えを受け入れ共創を通じて新しい文化や価値を創り出します
- ・常に高い目標を掲げて革新的な発想と情熱で挑戦し続けます
- ・活躍の場を世界へと広げ持続可能な社会の発展に貢献します

<お問い合わせ先>

広報・CSR・IR部 高嶋、吉田、榊原

Mail to : irpr@restargp.com

<将来の見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

